

審査員プロフィール

◆ パク ナムス (朴南秀) ◆

- 博士(公衆衛生行政)
- 韓国 ヒュプスン大学 衛生管理学部 教授
- 韓国 ヒュプスン大学 地域健康安全センター 代表
- 韓国 アジョー大学 医学部 地域安全向上センター客員教授
- セーフコミュニティ・セーフスクール公認認証審査員



梨花女子大学衛生教育学部を卒業し、延世大学大学院で博士号(衛生行政)を取得後、アジョー大学医学部外傷予防地域安全向上センター(セーフコミュニティ支援・認証センター)において国内外のセーフコミュニティの支援に携わる。

その後、協成(ヒュプスン)大学において外傷サーベイランス及び安全向上に関する政策評価の研究を進めるとともに、同大学の地域健康安全センターの代表として国内のセーフコミュニティ及びセーフスクールを幅広く支援している。また、国外に関しては、セーフコミュニティ・セーフスクール認証審査員として、各国の自治体や学校の認証審査を長年経験する。日本においても、多くの自治体の事前指導・現地審査においてご支援いただいている。前回の亀岡市のセーフコミュニティおよびセーフスクールの認証審査を担当している。

これらの実績を認められ、現在では国(教育省や健康福祉省)や京義道、ソウル市ソンパ区などにおいて、安全対策・学校安全・安全教育などの専門アドバイザーを務める。

審査員プロフィール（オンライン参加）

●11月15日（水）、16日（木）

◆パイ・ル/Pai Lu（白 璐）◆

- 博士（統計学）
- 台湾事故傷害・安全促進学会 学会長
- 台湾社區安全推進センター センター長
（セーフコミュニティ支援センター及びセーフスクール支援・認証センター）
- 国際セーフコミュニティネットワーク 理事
- アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 理事長



ジョンスホプキンス大学（アメリカ）等で博士課程及びポストドク（研究員）として教育を受けた後、台湾医科大学及び国防医学院（いずれも台湾）において生物統計学及びセーフティプロモーションを指導してきた。

SC に関しては、台湾における傷害予防及び安全向上の分野における先駆者であり、2002 年にセーフコミュニティを台湾に導入して以来、SC 支援センターである「台湾社區安全推進センター（TCSPC）」のセンター長として、これまで 30 を超えるコミュニティを指導し、20 以上のコミュニティを認証に導いたことから「台湾のセーフコミュニティの母」として慕われている。

さらに、アジア地域セーフコミュニティネットワークの副理事長、アジア地域 SC 支援センター連合の理事長を務め、台湾だけでなくアジア地域の SC 推進に大きく貢献してきた。日本においても、豊島区やほとんどの SC 推進自治体を訪問しており、SC 及び ISS の審査及び指導に関わっている。前回の豊島区の審査も担当されている。

●11月17日（金）

◆グレン・バーバー（Graeme Barber）◆

- ウーデンド小学校（ニュージーランド）元校長
- セーフスクール認証審査員
- セーフコミュニティ支援員
- 環太平洋セーフコミュニティネットワーク アドバイザー



バーバー氏は、学校教員、ワナウ（マオリ語の“家族”）、学習者指導者、そしてスタッフとして教育の分野において 40 年以上の経験を通して児童・教職員・地域住民の協働による学校の在り方を研究している。

35 年間の教員生活のなかで、学校と地域がともに学校を作り上げる方法としてインターナショナルセーフスクール活動に取組み、2005 年 8 月 11 日に自身が 15 年間校長を務めるウーデンド小学校においてインターナショナルセーフスクールの認証を受ける。その後、現場での経験をもとに積極的にセーフスクール活動を推進しており、併せてセーフコミュニティ活動を支援している。

現役中からニュージーランド国内や国際的な外傷予防及びセーフコミュニティ会議、認証審査や認証式に招待されており、セーフスクールの視点から安全なまちづくり、安全な学校づくりに貢献してきた。さらに、カンタベリー小学校長会及びニュージーランド校長連合会のメンバーに選出された経験をもとに、現在はサポートメンバーを務めている。日本においても、セーフコミュニティおよびセーフスクールの認証審査及び指導に貢献いただいている。

オブザーバープロフィール

◆ 白石 陽子（しらいし ようこ） ◆

- 博士(政策科学)
- 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事
- 国際セーフコミュニティネットワーク 理事
- アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 事務局長
- 立命館大学衣笠総合研究機構 研究員
- 韓国亜州(アジョー)大学 医学部 客員教授
- 韓国仁済大学(インジェ)大学 顧問教授
- セーフコミュニティ・セーフスクール公認認証審査員



立命館大学大学院政策科学研究科在籍中に安全なまちづくり活動「セーフコミュニティ(SC)」に出会う。京都府・立命館大学等からなる研究プロジェクトチームの一員としてSC発祥の地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所(医科大学)に派遣されたことがきっかけでSCの研究を始める。博士号取得後は立命館大学の研究員(ポスドク)を経て、京都大学大学院医学研究科「安寧の都市ユニット」にてSCの研究を続ける。

2011年に、WHOセーフコミュニティ協働センター(当時)からSC支援センターとして認証され「一般社団法人セーフコミュニティ推進機構」を立ち上げる。続いて、同年12月に「インターナショナルセーフスクール(ISS)」の支援・認証センターとして認証され、安全な学校づくりの活動の支援・研究を開始する。国外の活動については、2008年から認証センター(韓国)の公認コーディネータ・審査員、2013年からは(制度変更により)WHOセーフコミュニティ協働センター、2015年から国際セーフコミュニティ認証センターから公認認証審査員として認証され、アジアを中心にSCおよびISS活動の支援および認証審査を行っている。